

2019年度 第1四半期決算概要

2019年8月7日
デンカ株式会社

1. 業績

(単位:億円)

	2019年度 第1四半期実績 (4-6月)	2018年度 第1四半期実績 (4-6月)	増 減
売上高	909	940	△ 31
営業利益	67	69	△ 2
経常利益	64	80	△ 16
親会社株主に帰属する当期純利益	50	62	△ 12

2019年度 第2四半期予想 (4-9月)	2019年 通期予想 (4-3月)
1,950	4,150
150	380
140	360
105	270

2. 総括(前年同期比)

- ・当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、昨年度より5か年の新経営計画「Denka Value-Up」をスタートしました。その3つの成長ビジョン「スペシャリティーの融合体」「持続的成長」「健全な成長」にもとづき、2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益向上に注力しております。
- ・当第1四半期は、球状アルミナ、セラミックス回路基板、アセチレンブラックなど車両電動化関連製品の販売が好調に推移しましたが、原材料価格の下落に応じた販売価格の改定や、クロロプレンゴムや電子部品・半導体搬送用部材の高機能フィルム、半導体封止材向け溶解シリカファイラーの販売数量が減少したことなどにより、売上高は前年に比べて31億円の減収の909億円(前年比3.3%減)となりました。利益面では、営業利益は前年に比べて2億円減益の67億円となりました(前年比2.7%減)。経常利益は64億円(前年比20.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は50億円(前年比19.4%減)と、それぞれ減益となりました。
- ・第2四半期以降、世界経済の先行きは不透明感を増しておりますが、車両電動化関連製品の好調が続く見通しであり、これにインフルエンザワクチンや診断キットの収益寄与が加わることなどから、通期予想営業利益380億円達成による3期連続最高益更新を目指します。

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

	2019年度 第1四半期実績	2018年度 第1四半期実績	増 減
投資	設備投資	53	△ 3
	M & A 他	-	△ 1
	計	53	△ 4
減価償却費	55	57	△ 2
研究開発費	35	39	△ 4
有利子負債残高	1,158	1,131	27

2019年度 第2四半期予想	2019年 通期予想
220	450
未定	未定
220	450
115	240
80	170
1,220	1,200

	2019年度 第1四半期実績	2018年度 第1四半期実績
為替レート [円/\$]	110.8	108.1
国産ナフサ [円/k]	45,800	49,000

4.セグメント別状況(前年同期比)

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、クロロプレングムの価格改定が進み、デンカシンガポール社のスチレン系樹脂のスプレッドが改善しましたが、クロロプレングムや透明樹脂などの販売数量が減少したことなどから、減益となりました。
当第2四半期はスチレンモノマープラントの非定修年であることなどから、第2四半期累計では前年比増益の見通しです。
- ・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、各製品の価格改定が進んだことなどにより増益となりました。
第2四半期累計は、特殊混和材などの堅調な販売が続くとともに、引き続き価格改定による採算是正に努めることで前年比増益の見通しです。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、球状アルミナ、セラミックス回路基板、アセチレンブラックなど車両電動化関連製品の販売数量が伸長しましたが、これらに対応した生産体制の強化に伴い固定費が増加したことに加え、電子部品・半導体搬送用部材の高機能フィルムや半導体封止材向け溶融シリカファイラーの販売が前年を下回ったことなどから減益となりました。
第2四半期も同じような状況が続く見通しであることから、第2四半期累計も前年比減益の見通しです。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、プラスチック雨どいおよび工業用テープの販売は概ね前年同期並みとなりましたが、合繊かつら用原糸”トヨカロン”や、食品包材用シートおよびその加工品などの販売が前年を下回り、営業利益は赤字となりました。
第2四半期は、採算是正や販売拡大を進めることなどで、収益回復に努めます。
- ・ライフイノベーション部門は、デンカ生研株式会社の検査試薬の販売が国内、輸出とも前年を上回り、増益となりました。
第2四半期累計も、前年比増益の見通しです。

(単位:億円)

連結売上高・営業利益(実績・予想)		2019年度 第1四半期実績	2018年度 第1四半期実績	増 減	2019年度 第2四半期予想	2019年 通期予想
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	394	426	△ 32	810	1,650
	営業利益	38	44	△ 6	80	155
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	129	122	7	280	580
	営業利益	3	△ 2	5	5	10
電子・先端 プロダクツ	売上高	155	156	△ 1	340	740
	営業利益	26	27	△ 1	50	130
生活・環境 プロダクツ	売上高	88	97	△ 9	200	400
	営業利益	△ 2	1	△ 2	5	10
ライフ イノベーション	売上高	51	48	4	130	360
	営業利益	1	△ 2	3	5	65
その他 消去差	売上高	91	92	△ 1	190	420
	営業利益	2	2	△ 0	5	10
合 計	売上高	909	940	△ 31	1,950	4,150
	営業利益	67	69	△ 2	150	380

連結売上高増減	売 上 高				
	2019年度 第1四半期実績	2018年度 第1四半期実績	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	394	426	△ 32	△ 22	△ 9
インフラ・ソーシャルソリューション	129	122	7	7	△ 0
電子・先端プロダクツ	155	156	△ 1	1	△ 2
生活・環境プロダクツ	88	97	△ 9	2	△ 11
ライフイノベーション	51	48	4	△ 1	5
そ の 他	91	92	△ 1	-	△ 1
合 計	909	940	△ 31	△ 13	△ 18

連結営業利益増減	営 業 利 益					
	2019年度 第1四半期実績	2018年度 第1四半期実績	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	38	44	△ 6	△ 22	△ 13	29
インフラ・ソーシャルソリューション	3	△ 2	5	7	△ 0	△ 2
電子・先端プロダクツ	26	27	△ 1	1	1	△ 3
生活・環境プロダクツ	△ 2	1	△ 2	2	△ 5	0
ライフイノベーション	1	△ 2	3	△ 1	3	1
その他、消去差	2	2	△ 0	-	0	△ 0
合 計	67	69	△ 2	△ 13	△ 14	24